

# 未来の長浜市を創造するまちづくり委員会

## 第5回 都市基盤分科会 議事録

日時	平成21年 9月25日(金) 10:00 ~ 11:45		
場所	長浜市役所浅井支所 2階 第3会議室		
議題	前回までの協議内容等の確認		
出席者	竹内会長、山口副会長、金山委員、山口委員、中川委員、林委員		
市	分科会事務局 都市計画課 中川理事、中嶋参事、宮本		
6町	なし		
傍聴者	あり(1人)・なし	報道機関	あり(〇〇新聞社)・なし

### 【協議結果】

- ① 前回議事録の内容確認をし、承認を得る。  
前回までの協議内容を確認し、各要望事項についてただ羅列するのではなく、優先順位をつけたり絞込みを行って都市基盤分科会としてのまとめをすることで合意。  
各自が持ち帰って検討することで協議を終了する。  
次回最終回。
- ② 次回日程とテーマ  
日時：11月4日(水) 10時00分～  
場所：長浜市役所浅井支所第3会議室  
テーマ：都市基盤分科会としての提言や要望のまとめについて
- ③ その他

### 【主な意見】(要点列記)

- 前回議事録の訂正  
・特に意見なし。議事録の承認を得る。

### 前回までの協議内容等の確認

協議検討・要望要点について、前回までの協議経過を5つの項目に分類して取りまとめたことを説明

### 《道路関係》

- |     |                                                                        |
|-----|------------------------------------------------------------------------|
| 会長  | 県道西浅井余呉線はどの位置になるのか。                                                    |
| 事務局 | 国道303号が分かれるところから余呉湖の北に通じるところです。                                        |
| 会長  | 県道西浅井余呉線のトンネル開設の要望は前からされているのか。                                         |
| 事務局 | 30年前からの要望です。                                                           |
| 会長  | 国道365号の交通量が多いのか。冬は通行止めになっていると思ったが。                                     |
| 事務局 | 余呉高原スキー場までは行くことができますが、それ以降は通行止めとなります。栃ノ木峠のトンネル要望がありましたが、それが実現すると、冬季でも通 |

事務局	行可能になるということです。 西浅井の人は、湖北総合病院に行こうとすると、夏場は国道 8 号が渋滞して、病院に行くのに大変苦労されているということで、迂回路線となる県道のトンネル化を強く要望されています。
会長 事務局	柳ヶ瀬トンネルではだめなのか。 かなり迂回をしなければならず、またトンネルが狭く信号により一方通行となっています。
A 委員	現在、県道西浅井余呉線は車 1 台が通れるくらいの山越えの道があります。この道を整備するだけでもずいぶんと通行が楽になると思います。
会長 事務局	県は 1 年間に 1 本くらいの割合でトンネル工事をしているのか。 滋賀県は全然できていません。
会長 B 委員 A 委員	実際に必要なのかどうか判断が難しい。 伊香郡の中では、要望の上位に上がってきている事項。 西浅井の人にとっては、トンネル要望は強いと思う。緊急性だけでなく、通勤道路としても。
C 委員 D 委員	優先順位をつけて、要望を絞って進めたらどうか。 地元としては一番不便を感じて要望していることなので、最終的にこれに優先順位をつけるのか要望を絞り込むのかで変わってくると思う。確かに道路関係は今非常に厳しいのは確か。
会長 事務局 D 委員 事務局 C 委員	国道 8 号の北進計画についても、現実的に見ると難しい。 国道 8 号については推進協議会がありまして、毎年要望は行っています。 丁野虎姫長浜線はもう少しの区間であるが、これも凍結の可能性があるのか。聞いていません。 ひとつの長浜市となるのだから、要望を絞っていかななくてはならないと思う。県に頼っていてはいつしてもらえないかわからない。
副会長	地元としては絶対必要としてあげられたものであるもので、むやみに削ってしまうのはどうかと思う。
C 委員	新長浜となり、この都市基盤分科会で新しい長浜市のあるべき姿を誘導するような提言をまとめなければならない。要望をただ羅列するのではなく、A ランク、B ランクぐらいに分けるのはどうか。
会長	皆さんで持ち帰って検討していただいて、次回の会議でまとめるということをお願いしたい。優先順位をつけるなり絞り込むという形をとって。

#### 《ダム・河川関係》

D 委員	県の考えとしては、丹生ダムの方針が決まらなければ一級河川内の雑木対策ができないとしているのか。
会長 A 委員	そのようなことはない。ダム整備とは別に河川整備は必要。 丹生ダムに関して、高時川の瀬切れが地元（高月、湖北等）にとっては重要視されており、ダムが無ければ解消されない。
会長 事務局 C 委員 事務局	他のダムでは、ダム建設によって瀬切れがなくなっているのか。 姉川ダムでは瀬切れが無くなりました。 一級河川ではどの川も雑木がひどいのか。 どの河川もひどい状況です。草野川では地域の人が河川の中に入って毎年雑木の撤去をしています。
C 委員	今町でも地元でやられたと聞いたが、お金がない時代なので、地元（まちづくり協議会等）の力を借りて行ったらどうか。
D 委員	姉川では、川下から県が伐採を行ってくれている。管理協定において、最初は

- C委員  
事務局 県で伐採を行うが次年度以降は地元で管理していくという方法で行っている。改修対象の河川は、どこがあげられるか。
- B委員 余呉川はかなり改修されていますが、山本の自治会内はまだ改修されていません。他に大きい河川では高時川、草野川、姉川があげられると思います。
- C委員 余呉川では、以前は地域の人が河川の中に入って雑草等刈っていたが、15年ほど前に県土木から河川の中に入らないでほしいと言われ、それ以降は河川の中に入らなくなり、雑木、雑草がひどくなった。
- B委員 入らないでくれというのは何か理由があるのか。
- B委員 魚の関係だと思います。現在は堤防の路肩だけ刈っている。5年に1度くらい土木が河川の中に入ってくれている。
- C委員 都市基盤分科会として、要望だけをあげるのではなく、要望に対する提言などを入れてまとめたらどうか。
- B委員 余呉川は長く工事が中断（14～15年）しているので早期工事着手をお願いしたいという表現にしていきたい。
- B委員 国営の区間（国8号より南）は整備が済んでいるが、県営の区間（国8号より北）が整備されていない。用地買収は済んでいる。
- 事務局 丹生ダムの整備とは別に高時川の瀬切れ問題を1項目取り出してはどうか。
- 会長 高時川の瀬切れ対策を1項目起こします。
- ダム・河川関係についても絞り込むなり優先順位をつけるなりして次回の会議できちんとまとめたいと思います。

#### 《上下水道関係》

- A委員 基本的に上水も下水も数年先には全て統一するということで動かれるのか。
- C委員 そのような明確なことはまだわからない。上水は料金体系だけでも何本もあり、これは上水道組合がいくつもあるから。また水源の問題もあり一本化するのは難しい。
- 副会長 湖北町においては7つの組合があり統合できていない。
- C委員 合併協定書のお願い事項では、各町内の料金体系だけでも合併までに統一してほしいとなっている。いずれにしても事業としては統合に向かうだろうが、一両日中に統合は難しい。
- B委員 管理体制については、長浜市水道企業団になるのか。
- C委員 水道企業団は別の組織。管理は長浜市が行う事となる。
- 事務局 料金体制については、いずれかの時点で統合していかなくてはならないなっていると思います。各施設については、支所において管理していくことになると思います。
- D委員 水源確保とあるが、渇水時、余呉や西浅井では水が少なくなることはないと思うが。
- A委員 西浅井はわからないが、余呉ではかなり苦労しておられる。
- B委員 夏場でなく冬場に渇水になる。
- 副会長 夏場に雨が降らなければ、冬場に完全に渇水になる。
- 事務局 これから住宅団地や企業誘致をする上で、水源確保が重要となってきます。びわ工業団地においては、地下水を掘って水量を確保されています。
- D委員 水道企業団が琵琶湖から水を摂取する絶対量が決まっているということだが、例えば、合併して木之本あたりで琵琶湖から水を摂取しても、同じひとつのエリアとしてだめなのか。
- 事務局 そのためには、企業団の経営規模を変えていかなくてはなりません。どこまで簡易水道を取り入れてパイプをつないでいくのか経営方針を決めなくてはな

事務局 りません。  
琵琶湖は許可水利権があります。水利権をもっていた企業が撤退などしてその水利権を譲渡してもらうなどしてでなければ、なかなか水利権を増やすことは難しいです。地下水、河川水に頼らなくてはならない状況です。

会長  
事務局 直接琵琶湖から水をあげている企業は長浜市内ではないのか。  
今までであれば、鐘紡さんや浜ちりめんさん、近江ベルベットさんが持っておられたが、それを廃止したのだからその権限を譲ってほしいと県に言っているが、水利権の売買はできないといわれています。

A委員 高時川の瀬切れがなかったころは、高月町も地下水が豊富であった。瀬切れにより地下水も減ってきた。

《交通関係》

会長 今はどこも路線バスは赤字で大変だが、廃止してしまうわけにはいかず厳しい状況。最近ではデマンドタクシーを導入するという方向になってきている。  
JRの利用客数は増えているのか。

事務局 減ってきています。

副会長 JRの目標値に対しては減っている。駅によっては増えているところもある。河毛駅では増えてきていると聞いている。

事務局 高月駅では、利用客数は少ないのですが、きっぷの販売額については逆に多くなっています。企業に定期券などを販売するなどして努力されています。

副会長 河毛駅では、券売機を導入したために高齢者の方たちが買い方がわからず、前日にわざわざ高月駅や虎姫駅に切符を購入しに行っており、販売額は大幅に減ってしまった。  
JRが今後どうされるかわからないが、通勤通学の時間帯だけでも電車の確保を要望していかねばならない。

事務局 湖北の区域はJRの言うとおりに投資を行ってきましたので、JRには要望を行ってまいりたいと思います。

会長 朝8時30分の米原駅車輦は2両であり、毎日満員である。せめて4両にしてほしい。

事務局 現在広域観光圏を取って、湖北に観光客を発生させようということで様々なイベントを行っていますが、それに甘んじることなくみんながバックアップしていかねば電車の利用客が増えていかないのではないかと思います。

会長 公共交通を重要視する施策でなければいけないと思う。

《生活・防災関係》

副会長 高時川の堤内民地に県有地が30~40%ある。農工法により指定されたが活用されていない。湖北には防災拠点がないので、ここに拠点施設を誘致したい。

会長 県内に防災基地は何箇所かあるのか。

事務局 日野町に基地があります。

副会長 高時川河川敷にも日野町のような基地を考えている。

事務局 県が拠点施設を作ってくれるかが問題とされます。

D委員 住宅整備をしようとすると、インフラが整備されていなければ難しいのでは。

会長 6町において住宅団地整備をしているところはあるのか。

B委員 数件単位、アパート等の建設ぐらいならありますが。

副会長 土地利用(農用地)の問題で難しい。